

聖書—創造主のことば

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2008.3.1

No.44

「創造主に対する信仰とは、理性を超えるが、非理性的ではない。」とよく言われます。クリスチャンが持つ信仰は、確かに理性ではなかなか理解できないかもしれませんが、しかし、根拠もないものを自分に思い込ませて、盲信しているわけではありません。私たちの信仰の土台は「聖書」にあります。この地上のあらゆる情報の中で聖書が最も信頼できると考えているのです。

最近の新聞記事に「プール後の洗眼は眼によくない」というのがありました。水道水に含まれる塩素によって、水泳後に洗眼するとかえって角膜にダメージを与えてしまうというのです。当然のように行い、繰り返し指導してきたのに…。しかし、これまでは知らずでした。問題はこれからです。この事実を知った限りは今後の対応を考えるべきなのです。私たちの聖書に対する信仰もこれと似ているかもしれません。私もかつては聖書について知りませんでした。でも今はある程度理解し、今の段階で最も信頼できる書物だと思っています。この判断は将来ひっくり返るかも？でも、そのときはより正しいものを信じ

ていけばいいのです。間違っていると思われるものについてでも、みつこうとは思いません。こう思いつつ聖書に出会って二十六年になりました。今のところ聖書に代わるものは私の前に現れず、かえって聖書に対する確信は強められているのです。

クリスチャンの信仰に感心する人がいますが、私たちがみると、いとちややく迷信や得体の知れないオカルト情報を信じている人たちの信仰に驚かされます。実は、信仰（信頼、信用と同じ意味）を持っていない人はいないのです。「聖書」のような特定なものを信じていなくても、人は何かを信じて毎日生活しています。「人間は死んだら終わり。」「死後の裁きなんてない。」「神はいない。」「神が存在するかどうかなんて、いつまでたっても、だれにもわからない。」などと信じているのです。何を根拠にそのように信じているかわかりませんが、彼らの信仰もなかなか堅固なのです！他の宗教を信奉している人でも、「信じやすいから」、「利益があったから」、「親しい人に勧められたから」といった根拠で信じている人が圧倒的なのです。

では聖書が信頼できる根拠とはどのようなものでしょうか。

最も長い間読まれている。

世界で最も古い本であり、完成して二千年たった今でも読み継がれている。

内容が一貫している（統一性）
千六百年もかかって、四十人以上の人に よって書かれ、書かれた場所・文化・言葉なども隔たりがあるにもかかわらず、内容に統一性がある。

世界で最も多くの書物を生み出す元
聖書関連の書物、辞典、神学書、哲学書、説教書、詩、讃美歌集等膨大な数です。

世界で最も人類に影響を与えた
聖書によって人生を変えられた人は数えきれません。パッハ、ナイチンゲール、マザー・テレサ、リンカーン、ニールソン等々。その影響は今でも継続中です。

世界で最も多くの社会運動を起こした
教育・医療機関設立、医療活動、慈善活動、救助活動等多くのものを生み出す。

世界で最も発行部数が多い
毎年五億冊以上印刷され、配布・販売されている。

世界で最も多くの言葉に翻訳された
二千以上のことばに翻訳されています。数百人しか話されていない言葉にも訳されていることもあります。

これら一つ一つ見ていくだけでも膨大な資料になります。一体これほどの不思議を詰めた聖書とはどんな本なのでしょう？

(つづく)



こんなことしました！ 行事報告

二月

- 一日 N十二歳誕生日
- 十二日 絵画教室「張子を作ろう」
- 二十三日 土曜学校（作って食べよう）
- 二十六日 関西国際空港
(イスラエル旅行見送り)
- 二十八日 合同公文教室とミニコンサート
(J.Cにて)
- 二十八〜三月一日 O姉妹が訪問

書道

R

前から書道を習いたいと思っていました。とうとう二月から習うことができました。書道教室が家から近いからうれしいです。雨がふっても行けるからすごくべんりです。

一番はじめは、鉛筆で自分の名前を、毛筆では「いし」と書きました。すみと筆で字を書くのは、生まれてはじめてでドキドキしました。むずかしいけど先生がやさしく教えてくださるので楽しかったです。

次に「いろはにほへと」の字を練習しました。「ほへ」の字を先生にほめられました。ずっと練習を続けて字が上手になったらいいなと思います。私は手紙をいっぱい書くので、字がきれいになりたいです。

三月からはお姉ちゃんもいっしょに教室に行きます。これからもがんばって続けていけたらなと思います。



コンサート後、茶話会で。女の子たちで記念撮影。緊張もとけて笑顔です。



兄と妹で仲良く(?)連弾。「動物の謝肉祭」の「ぞう」を弾きました。緊張のあまり手が思うように動かなかったとか。



大好評だった司会。マイクを持って絶好調。ナレーターのRもがんばりました。

ミニコンサート

N

ミニコンサートはJ.Cで行われました。私の弟が司会をしました。蝶ネクタイ姿で、マイクを持たせたら、いつもと違ってきまっています。

第一部では、動物の謝肉祭という全部で十四曲もあるピアノの連弾をJ.CのみならずN家で弾きました。私は「水族館」「カンガルー」をお姉ちゃんと二人で弾き、「ぞう」をお兄ちゃんと弾きました。ほかには「白鳥」、「ライオン」、「らば」など、動物に関係するものばかりでした。

練習し始めた時は息も合わずバラバラでしたが、がんばって練習していったらだんだん上手になってきました。途中で弟と妹がナレーションをしました。だから物語みたいになり成功したので良かったです。親子や兄弟で連弾している様子に集ってくれたみんなは感動してくれました。

第二部では、ほかの家族たちが出し物をしました。英語で歌を歌ったり、ピアノを独奏したり、ベル演奏をしたりしました。最後にはMちゃんとN先生がサクソフ、ユーホニウムという楽器で、「ホール・ニュー・ワールド」を弾きました。とてもかっこよかったです。その後の茶話会では緊張もとけ、楽しく過ごしました。またミニコンサートをしたいです。

編集後記

ミニコンサートの準備にそれぞれ忙しくしていました。それぞれの特性がよく表れていました。祖父がイスラエルに行っていた間、女の子は泊りがけで祖母と楽しいときを過ごしていました。